

宇宙ステーション補給機「こうのとり」9号機(HTV9)に係る安全対策の 調査審議のポイント

令和2年5月19日

1. 国際宇宙ステーション(ISS)での係留フェーズに係る安全対策

(1) 安全対策の評価範囲について

—昨年11月の宇宙活動法の施行に伴い改訂された、「宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)等物資補給機の運用に係る安全対策の評価のための基本指針」(令和元年7月10日改訂)に基づき、HTV9号機のISSでの係留フェーズにおける安全対策の調査審議を行った。

(2) 8号機からの反映／変更事項について

8号機からの反映／変更事項に対する安全評価への影響を評価し、ハザードの識別、制御及び検証を行っていることを確認した。

(3) HTV8号機用曝露パレットの廃棄について

HTV8号機と同様に前号機(HTV8号機)の曝露パレットをHTV9に搭載して廃棄することに対して、HTV8用曝露パレットの挿入に関するハザードについて安全評価を実施し、適切に検証が実施されていることを確認した。

(4) ミッション機器として WLAN Demo 実験用 のモニターカメラ、データ処理装置の搭載について

HTVとのインタフェースについては、熱構造と電氣的インタフェース等の条件が定められており、WLAN Demoはこの条件を満たす前提で開発され、それぞれに関する構造、電気、電磁放射ハザードについて安全評価をし、適切に検証が実施されていることを確認した。

2. その他

JAXAは、ISS参加各国・機関が合意した安全評価プロセスに従い、日本が提供する全てのHTV9に搭載・補給する搭載物(超小型衛星搭載用地球観測カメラ等)の安全評価を行っている。またNASAが安全評価を実施した搭載物(水タンク等)については、NASAが「Flight Safety Certificate」を発行し、JAXAはその内容をもとに安全評価を行っている。